

教育研究業績書

2023年10月23日

所属：社会福祉学科

資格：教授

氏名：松端 克文

研究分野	研究内容のキーワード
社会福祉学, 地域福祉論, ソーシャルワーク論	地域福祉, コミュニティワーク, コミュニティソーシャルワーク, 障害者福祉, 個別支援計画, 地域福祉計画, コミュニティプラクティス
学位	最終学歴
社会学修士	

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要

1 教育方法の実践例		
1. 丹波福祉フィールドワーク研修プログラム	2022年2月28日2022年3月1日	心理・社会福祉学科1年～3年生計12名の学生を引率し、丹波市における社会福祉施設や社会福祉協議会、行政、地域の団体などのご協力のもと、学生が地域のさまざまな社会資源にふれながら、地域の特長・強みや課題、地域活性化や地域福祉の推進において必要とされる取り組みなど、地域の暮らしと福祉について学ぶことを目的としたフィールドワークを実施した。
2. 商店街の空き店舗を活用しての学習支援等の活動（サードプレイス～シェア桃大～）	2015年8月1日2017年3月31日	和泉市の商工部と連携し、JR和泉府中駅近くの商店街の空き店舗を大学として借り、そこをゼミ生を中心に他学部の学生も参画し、放課後の小学生の学習支援や留学生による英会話教室を開催し、残りの時間帯を地元の福祉系の約30の団体とシェアして使用し、リハビリ教室や福祉専門相談、小物づくりなどの活動を実施。こうした店舗の運用にも学生が参画して実施した。
3. 学生によるひきこもりの方への支援活動（社会的居場所づくり事業）	2013年10月1日2018年3月31日	大学の地元の和泉市のコミュニティソーシャルワーカーと連携し、ゼミ生（3・4回生）がひきこもりの方を月1～2回程度訪問し、話し相手になったり、一緒に外出したり、ワーカーと学生、そしてひきこもりの方が集い、交流するイベント（たこ焼きパーティーやクリスマス会など）を2か月に1回程度を開催した。

2 作成した教科書、教材		
1. 共著『地域共生社会におけるソーシャルワークの役割』ミネルヴァ書房	2020年3月31日	第3章「共生社会に向けての新しい地域福祉」（pp. 65-90）を執筆。地域福祉の理論の系譜について、システム理論の枠組みをもとに整理し、現在、政策的にも重要視されている「地域共生社会」に関する動向を批判的に検討し、これからの方向を提示した。
2. 『新版よくわかる地域福祉』ミネルヴァ書房	2019年4月30日	地域福祉に関する理論、政策、実践状況について、最新の動向をふまえて、学生や現場で実践している専門職、活動者などにもわかりやすく解説した。
3. 『社会福祉学習双書2019 地域福祉論』全国社会福祉協議会	2019年2月28日	松端克文、序章第2節「地域福祉事業・活動の実際」（pp. 5-14）。大阪府の状況をふまえコミュニティソーシャルワークや地域福祉計画づくりなどの地域福祉活動の事例を交えてわかりやすく解説した。
4. 『よくわかる社会福祉の「経営」』ミネルヴァ書房	2018年12月30日	社会福祉法人や福祉NP0などの組織と経営に関して、経営の基礎理論、人材養成、チームマネジメント、経営の手法などの観点から、学生や福祉組織の経営者、中間管理職などを対象にわかりやすく解説した。
5. 『新・社会福祉士養成講座第9巻 地域福祉の理論と方法（第3版）』中央法規出版	2017年2月	松端克文、第6章第2節「市町村社会福祉行政における住民参加」（pp. 179-184）。市町村における住民参加の重要性について、自治やガバナンスの観点などをふまえて解説した。
6. 『社会福祉士 基礎研修テキスト 上巻』公益財団法人日本社会福祉士会	2015年4月	松端克文、地域開発・政策系科目I「地域における福祉政策と福祉計画」（pp. 248-269）。市町村の福祉政策と福祉計画づくりについて、地域福祉計画に焦点をあてて解説した。

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
2 作成した教科書、教材		
7. 『社会福祉士相談援助演習（第2版）』中央法規出版	2015年2月	松端克文、第1章第2節「相談援助演習の基本概念 環境の理解」(pp. 33-47)、第3章第7節「ソーシャルアクションに関する相談援助演習」(pp. 168-173)。演習教材として、ソーシャルワークの実際の実践状況について、理論的に整理しつつ、具体例を交えてよりリアリティをもって学べるように解説した。
8. 『新・社会福祉士養成講座第10巻 福祉行財政と福祉計画（第5版）』中央法規出版	2015年2月	松端克文、第7章第3節「障害者計画・障害福祉計画」(pp. 195-226)。都道府県および市町村における福祉計画づくりについて、障害福祉領域の具体的な取り組み事例をふまえて解説した。
9. 『ソーシャルワーク演習ケースブック』みらい（共著）	2012年12月	松端克文、第2章第1節「インシデント事例からソーシャルワークの意味を知る 人権」(pp. 31-34)、第4章第1節「地域福祉計画・地域福祉活動計画を行政と社会福祉協議会とで協働して策定する事例」(pp. 205-212)、第4章第4節「子どもが参加する福祉教育の事例」(pp. 231-239)。演習教材として、人権や計画づくり、福祉教育について、具体的な事例を交えてわかりやすく解説した。
10. 『社会福祉士相談援助実習』中央法規出版	2009年11月	松端克文、第7章第1節「実習先機関・施設、地域の理解」(pp. 126-139)、第12章第5節「チームアプローチの実際」(pp. 225-231)、第12章第6節「社会福祉士としての職業倫理、施設・職員などに関する規定と責任」(pp. 232-237)。相談援助実習の教材として、具体的な実践状況やアプローチの方法、職業倫理などについて解説した。
11. 『新社会福祉援助の共通基盤 下（第2版）』中央法規出版	2009年4月	松端克文、社会福祉士がとらえる地域支援 第3節「地域における福祉計画」(pp. 48-65)。社会福祉士が市町村における福祉計画づくりにどのように関与すべきなのか、理論的に解説した。
12. 『地域福祉の学びをデザインする』有斐閣	2006年6月	地域福祉に関する教授法について、第1章第3節「地域福祉の教育の方法」、第3章03「地域福祉の理論 I 岡村理論と学説史」、第3章22「地域福祉計画」において、教員が地域福祉をどのように教授するのかという観点から地域福祉の理論や計画についての授業の進め方を概説した。
13. 『精神保健福祉士・社会福祉士養成基礎セミナー5 地域福祉論—地域福祉の理論と方法—』へるす出版	2000年2月	松端克文、「地域における福祉ニーズの把握」(pp. 182-192)、「地域福祉のネットワークング」(pp. 192-200)。社会福祉士・精神保健福祉士として、地域の福祉ニーズをどのように把握するのか、またどのようにネットワークを構築するのかということを知りやすく解説した。
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 社会福祉協議会などにおける講演、研修会講師	2017年4月1日2018年3月31日	厚生労働省・全国社会福祉協議会「生活困窮者自立支援制度人材養成研修」（10・11月）、全国社会福祉協議会・全国社会福祉法人経営者協議会「全国社会福祉法人経営者大会」（9月）、岡山県社会福祉協議会「岡？県地域公益活動推進セミナー」（9月）、大阪市社会福祉協議会「地域を基盤としたソーシャルワーク研修」・「コミュニティソーシャルワーク実践講座」（11月～12月）、大阪府社会福祉協議会「コミュニティソーシャルワーカー・スーパーバイズ研修」（9月）、滋賀県社会福祉協議会「コミュニティワーカー研修会」（9月）、兵庫県社会福祉協議会「支え合い社会県民フォーラム」（8月）、広島県社会福祉協議会「キャリア別社職員研修 中堅・若手」（8月）、滋賀県社会福祉協議会「会長・事務局長研修会」（7月）、滋賀県社会福祉協議会「民生委員児童委員人権研修会」（6月）、鳥取県社会福祉協議会新任職員研修（6月）、兵庫県社会福祉協議会新任事務局長・職員研修会」（5月）など多数実施。

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
2. 和泉市での「いずみ市民大学」の講座の担当	2016年4月2017年3月	2016年に開設された和泉市の「いずみ市民大学」のま つづくり学部において提供されている「エリア別学 科」と「テーマ別学科」において、市民を対象にゼミ 生も参加のもと「福祉で(の)まちづくりーその考え 方と方法ー」についての講義と演習を担当。
4 その他		
1. 社会福祉士国家試験 試験委員	2011年4月2017年3月	社会福祉士国会試験委員を担当。
2. 社会福祉士演習担当者教員講習会 講師	2010年8月～現在	社会福祉士養成校における演習担当者を養成するた めの教員講習会の講師を担当。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 社会福祉士養成教育における「演習」「実習」担当	2007年4月～現在。	2007年社会福祉士法及び介護福祉士法改正以降、社会 福祉士養成のための「演習」「実習」科目を担当。
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 自治体行政における各種の審議会・委員会	2017年年度末時点。	大阪府地域福祉推進審議会委員、伊丹市福祉対策審議 会委員(障害者部会部会長)、箕面市保健医療福祉総合 審議会委員(障害者部会部会長)、大阪市障害者施策推 進協議会会長、岸和田市社会福祉審議会会長、岸和田 井障害者施策推進協議会会長、東大阪市社会福祉審議 会委員、奈良県日常生活自立支援事業契約締結審査会 会長など。
4 その他		
1. マスコミ報道(直近2年)	2016年4月2017年3月	「社会福祉法人が連絡協議会設立」における講演の様 子を紹介『神戸新聞』(2017年2月23日付)、「此花ふ くしランドテーブル」での講演の様子などを紹介『大 阪日日新聞』(2017年2月17日付)、「地域福祉フォー ラム200名が講演聞く」で講演の様子を紹介『紀伊民 報』(2016年9月4日付)、「地域福祉住民懇談会 課題 解決策考える 住民30人参加」において住民懇談会を ファシリテートする様子を紹介『紀伊民報』(2016年 8月20日付)、その他『読売新聞』『毎日新聞』『朝日 新聞』での孤立死や障害者関連の記事などへのコメン ト記事多数。よみうりテレビ、関西テレビ、朝日テレ ビ、NHKへの出演は2005年～今日までで約10本。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. 『NHKテキスト社会福 祉セミナー 2021年 4月～9月』	共	2021年4月1 日	NHK出版	NHKラジオ第2放送において2021年5月1日、8日、15日、22日に放送さ れた4回分の放送用テキスト「地域福祉という考え方と実践」を執筆 した。
2. 『社会福祉学習双書 8 地域福祉と包括的 支援体制2021』	共	2021年2月 26日	『社会福祉学習双 書』編集委員会 編、全国社会福祉 協議会。 執筆者：藤井博 志・松端克文・牧 里毎治・原田正 樹・山口稔・中村 美安子・和田敏 明・加山弾ほか。	「序章 地域福祉の実際」(P5～7, 9～15)において地域福祉の実 践事例について解説し、「第3章 地域福祉概念と理論」(P117～ 132)において、地域福祉の理論について、時代背景や社会的課題と 関連づけて解説した。
3. 『新版よくわかる地 域福祉』	共	2019年4月 30日	上野谷加代子・松 端克文・永田祐 編、ミネルヴァ書 房。	編者として全体の構成や内容を調整するとともに、「地域福祉の理 論」「地域福祉の構成要素」「地域福祉の方法」「ソーシャルアク ション」など9項目を執筆した。
4. 『社会福祉学習双書	共	2019年2月	『社会福祉学習双	序章第2節「地域福祉事業・活動の実際」(pp.5-14)において、地

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
2019地域福祉論』			書』編集委員会編、全国社会福祉協議会。	域福祉の事業や活動について、大阪府内の市町村における福祉委員会の活動や大阪府堺市などの地域福祉実践について、わかりやすく解説した。
5. 『よくわかる福祉の「経営」』	共	2018年12月30日	執筆：藤井博志・松端克文・牧里毎治・原田正樹・山口稔・中村美安子・和田敏明・加山弾ほか。	社会福祉の経営の観点からの組織化の方法として「大学との連携」、社会福祉の経営の手法として「見せる化」「つながる」「プランニング」「ネゴシエーション」の5項目を執筆した。
6. 『地域の見方を変えると福祉実践が変わるーコミュニティ変革の処方箋ー』	単	2018年6月	小松理佐子編、ミネルヴァ書房。執筆：小松理佐子、松端克文、新谷司、川島ゆり子、熊田博喜ほか。	「私」を基点に「私たち」と実感できるような「つながり」を地域の中につくるという観点から地域福祉を捉え、解説している。ルーマンやハーバーマスといった社会科学系の理論を地域福祉の分析に応用し、身近な私たちの暮らしの中で、ごく自然に地域福祉を考えられるようになる斬新な「視座」を提示している。地域福祉を捉えるための新しい理論を提示している。
7. 『新・社会福祉士養成講座第9巻地域福祉の理論と方法（第3版）』	共	2017年2月	ミネルヴァ書房	第6章第2節「市町村社会福祉行政における住民参加」(pp.179-184)において、市町村の福祉行政における住民参加の形態や方法について、自治やガバナンスの観点を中心に社会福祉士の実践の方向と関連づけて説明した。
8. 『地域福祉の学びをデザインする』	共	2016年6月	中央法規出版、社会福祉士養成講座編集委員会編。執筆：安藤雄太・市川一宏・上野谷加代子・大島巖・大島隆代・大橋謙策・松端克文ほか。	第1章第3節「地域福祉の教育の方法」(pp.14-26)、第3章03「地域福祉の理論 I 岡村理論と学説史」(pp.72-77)、第3章22「地域福祉計画」(pp.190-195)において、社会福祉士の養成校において教員が地域福祉をどのように教授するのかという観点から地域福祉の理論や計画についての授業の進め方を概説した。
9. 『よくわかる社会福祉（第11版）』	共	2016年4月	有斐閣、上野谷加代子・原田正樹編。	VII-7「生活保護の実施体制」(pp.114-115)、VII-8「生活保護の種類と内容」(pp.116-117)、VII-9「生活保護の原理と原則」(pp.118-119)、VII-10「生活保護の施設の体系」(pp.120-121)において、生活保護制度の実施体制や種類、内容、施設体系そして原理・原則などをふまえて、どのように運用されているのかということをも簡潔に説明した。
10. 『福祉ガバナンスとソーシャルワークーピネット調査による国際比較ー』	共	2016年4月	ミネルヴァ書房、山縣文治・岡田志克編。	第3章「地域福祉における『つながりをつくる機能』において、地域福祉を推進していくための機能を「くらしをまもる」と「つながりをつくる」という2つの機能に分けて整理し、その具体的な実践の展開の仕方について論考した。
10. 『福祉ガバナンスとソーシャルワークーピネット調査による国際比較ー』	共	2015年2月28日	上野谷加代子・斉藤弥生編、ミネルヴァ書房。執筆：上野谷加代子、斉藤弥生、松端克文、武川正吾、所めぐみ、室田信一ほか。	
2 学位論文				
3 学術論文				
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
2. 学会発表				

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
6. 研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等

年月日	事項
-----	----